

神奈川県立中央農業高等学校

農業クラブ本部

高校生ボランティア・アワード2024

「フードバンク活動」

活動概要

私たち農業クラブ本部は月に1回から2回程フードバンク活動というボランティア活動に参加しています。フードバンク活動とは世界で食品ロスをなくす目的で行われていて、日本でも企業や団体等が取り組んでいます。

具体的にこの活動は、安全に食べられるのに包装の破損や印字ミスなどの理由で販売が難しいものを寄付していただき、必要としている施設や団体の困窮世帯に無償で提供する仕組みのことをいいます。

この活動を行うことは食品ロスを削減するとともに廃棄物の大幅な削減が見込めます。そのためこの活動はSDGsの1番の目標「貧困をなくそう」、2番「飢餓をゼロに」、3番「すべての人に健康と福祉を」に合致した内容といえます。

また、私たちは「フードバンク」の他に「フードドライブ」という活動にも取り組んでいます。これは、家庭で余っている食べ物や日用品などを学校や回収施設などに持ち込み、それらをまとめて地域の福祉施設、フードバンクなどに寄付する活動です。

私たちは現在、学校の校内3か所にフードドライブ用の回収箱を設置し、再利用することのできる日用品やもう食べないと思われる食べ物を回収し、私たちがボランティアに参加させていただいているNPO法人フードバンク横浜とフードバンクえびなに実際に寄付しています。



「苦しさから脱出」

現在の日本では「今日食べるものが無い」と困ってしまうほどの困窮者が大勢いるのが現状です。その方たちを救い、少しでも多くの困窮者を減らすために、日本には生活保護と同等の水準の家庭に直接食料を届ける活動があります。食料では、米、パン、野菜、即席麺などが届けられます。他にも企業と連携して日用品や家電製品など生活に必要なものが届けられます。特に食品の中では栄養のある肉や魚、簡易的に食べることのできる缶詰などの食品が求められることが多いです。苦しい状況から抜け出すために生活の一部をフードバンクに頼っている人たちがたくさんいます。フードバンクでは、少しでも苦しい生活から解放できるように手助けが行われています。実際に私たちが参加させていただいているNPO法人フードバンク横浜のコンセプトには「誰も置き去りにしない」、「救われる側から救う側へ」といったコンセプトがあります。これらを実現させるために私たちにできることを考え、学校で育てた野菜、卒業記念品で寄付していただいた防災保存食、フードドライブで寄付していただいたものを寄付しています。

まだまだ世界にはフードバンク活動を知らない人がたくさんいます。私たちは生活に困っている人たちがフードバンク活動を通じて少しでも苦しさから脱出し楽しく笑って過ごせる日常であってほしいと思っています。

新たな活動について

私たちが参加し続けているNPO法人フードバンク横浜は4つの区の会場があり月4回フードバンクが行われています。実際に一人支援の方や生活困窮者のかたに物を寄付するのはこの4つの会場ですが、他にもフードドライブや倉庫作業など、生活が苦しい人のためにみんなが動いています。この活動にもっと協力したいと考え、4つある会場のうち1つの会場を生徒会と一緒に行うことにし、生徒会と農業クラブ本部の交流も含めフードバンク活動に参加しています。

また、これも昨年度より開始したことだが私たち農業クラブ本部は今まで行ってきたNPO法人フードバンク横浜のボランティア活動に加え、フードバンクえびなのお手伝いも開始しました。

きっかけは本校が海老名市にあることから長年続けてきたボランティア活動を地元の方々やより多くの人を助けるのに活かしていきたいと考えたため、海老名市教育委員会の会議で私たち高校生が参加する機会があり、そこで提案し実現しました。実際に令和5年3月から活動をスタートし今現在も月1回から2回、NPO法人フードバンク横浜と月1回フードバンクえびなを行って行く中でフードバンクという活動の認知の無さや、対象となる方が本当に助けが必要なのかといった課題が見つかったため、私たちは今まで行ってきたNPO法人フードバンク横浜を活かしながら「助けを求める人たちには他に何ができるのか」

「みんなが笑って過ごせる生活にするために自分たちに何ができるのか」を考え、今も課題と向き合っています。

「笑顔になれる場所をめざして」

私たちは先輩達が行ってきた活動を引き継ぎ、高校生にできることを考え、より多くの笑顔を見るために、今もボランティア活動に取り組んでいます。しかし、先輩達が行ってきたことをやるだけでは、少ない範囲の方々の笑顔しか作れません。より多くの方々を笑顔にするために、例年行ってきたNPO法人フードバンク横浜、そして昨年度より開始したフードバンクえびなのボランティア活動などに参加し、課題を見つけてより多くの方が「笑顔になれる場所をめざして」これからも頑張りたいです。また、今年度から新型コロナウイルス前に先輩達が行ってきたアンケートも再開させ、多くの意見が取り込めるようにしたいです。



活動団体プロフィール

神奈川県立中央農業高等学校 農業クラブ本部

- ・1学年 0名
- ・2学年 6名
- ・3学年 12名 計18名

本校では園芸科、畜産科、畜産科、畜産科、畜産科の生徒が学年・学科に所属し、所属しています。

校内：農業クラブ活動に関する大会の運営などを行っています。
校外：学校を代表して県内農業部会長の会議に出席し、意見交換会。
また、地域イベントへの参加。
関連する兄弟学校の子どもたちと交流会を実施しています。